



# 全国ユース 環境ネットワーク

Japan Environmental Youth Network



第10回 全国ユース環境活動発表大会  
全国大会出場16高校の様子・テーマなど

第10回 全国ユース環境活動発表大会  
全国大会&地方大会の内容を掲載しています。  
本誌・中面をぜひご覧ください。



北海道真狩高等学校



北海道岩見沢農業高等学校



青森県立名久井農業高等学校



宮城県農業高等学校



群馬県立吾妻中央高等学校



山梨県立都留高等学校



長野県下伊那農業高等学校



愛知県立猿投農林高等学校



京都府立宮津天橋高等学校



京都府立桂高等学校



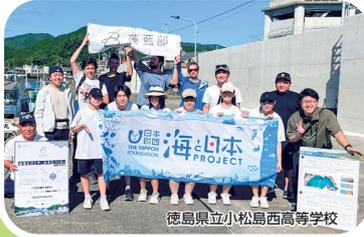
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校



広島県立世羅高等学校



愛媛県立長浜高等学校



徳島県立小松島西高等学校



宮崎県立都城商業高等学校



熊本県立熊本農業高等学校

# 第10回 全国ユース環境活動発表大会

2025年2月1日(土)～2月2日(日)、国連大学ウ・タント国際会議場とレセプション・ホール(東京都渋谷区)で、「第10回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会」が開催されました。全国8地方の地方大会で選ばれた16高校が出場。日頃より熱心実践している環境活動、SDGs活動を発表しました。

また、大会冒頭、浅尾慶一郎環境大臣より高校生にメッセージをいただきました。



## ご挨拶

皆さん、こんにちは。環境大臣の浅尾慶一郎です。

「第10回全国ユース環境活動発表大会 全国大会」への出場、おめでとうございます。

また、今大会の開催に当たりご尽力いただいた環境再生保全機構と国連大学の皆様、後援・協賛をいただいた企業の皆様に、心から感謝申し上げます。

本大会は、社会課題の解決に向け取り組まれている環境活動事例を高校生自らが発表する場として回を重ね、今年は第10回の節目を迎えました。

高校生の皆さんがそれぞれ、自らの暮らしの中で地球の未来や環境問題に関心を持って、高校生ならではの発想で解決策を提案していただきました。このことに、環境大臣として大変心強く感じています。

自ら問題を見つけ、仲間とともに知恵を出し合い、将来のことを考えることは、これから社会人になる高校生の皆さんにとって、きっと大きな糧となることと思います。

環境問題には、将来にわたって取り組んでいく必要があります。高校生の皆さんに、自分事として関心を持ち続けていただき、社会人になっても、問題の解決に力をお貸しいただけることを期待しています。

全国各地で素晴らしい取り組みを行っている全国の高校生の皆さん、生徒に寄り添い、活動を支えてくださっている先生・保護者の皆様、地域の皆様に、感謝の気持ちをお伝えして、私からのメッセージとさせていただきます。



環境大臣

浅尾 慶一郎

## 第10回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会 記念写真



### 第10回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

#### (実施概要)

- 日程** 2025年2月1日(土)～2月2日(日)
- 会場** 国連大学 ウ・タント国際会議場、レセプション・ホール
- 主催** 全国ユース環境活動発表大会実行委員会  
(環境省/独立行政法人環境再生保全機構/国連大学サステナビリティ高等研究所)
- 後援** 読売新聞社
- 協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO) / 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC) / ESD活動支援センター
- 協賛** キリンホールディングス株式会社/協栄産業株式会社/SGホールディングス株式会社/株式会社タニタ/東芝プラントシステム株式会社



会場：国連大学  
(東京都渋谷区)

### ..... 受賞校の皆さん、おめでとうございます! .....

全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表も素晴らしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

環境大臣賞、環境再生保全機構理事長賞、国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞を受賞された3校の皆さんは、「2025年大阪・関西万博」に越えいただき、「ジュニアSDGsキャンプ」のステージにて活動内容の発表を行っていただきます。また、地元の高校生や来場者との交流会も併せて開催します。

#### 👑 環境大臣賞

##### 徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA 雪花菜工房×藻藍部

###### 藻場の再生で環境ビジネス!海洋GXと海洋DXでウミノ経済循環型社会を目指して

海水温上昇によりアイゴやブダイなどの食害魚が増え、藻場が減少しています。私たちは「日本の海と食文化を守る」という目標を掲げ、藻場の再生活動を行ってきました。未利用魚を活用した商品を開発し、その売上の一部を藻場再生のために寄付する仕組みを作りました。自然資源を活用して藻場の養殖を行い、また、海洋DXを活用して藻場の調査を効率化しました。



#### 👑 環境再生保全機構 理事長賞

##### 宮城県農業高等学校 Re:温故知新

###### Re:温故知新

地元農家から「肥料が高くて買えない」という相談を受け、肥料削減の研究を開始。田植え後に誤って肥料無しで田植えをするという失敗を通じ、結果として窒素が少なくても収量や食味がほぼ変わらないことが判明しました。この経験を基に、肥料削減の新しい栽培方法を構築。肥料の開発と普及活動を行いました。最終的に肥料を通常の3分の1まで削減することに成功しました。



#### 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

##### 北海道岩見沢農業高等学校 自然エネルギー班

###### 厄介者の見方を変えて味方にする!～雪ともみがらの循環利用による持続可能な農業経営の実現～

岩見沢市は特別豪雪地帯に指定され、1人あたり除排雪費用は札幌市の約2倍。同時に道内有数の稲作地帯で、精米の過程で排出されるもみがらは余剰状態で、処理が課題です。そんな地域の厄介者「雪」と「もみがら」を活用し、豪雪地帯における周年栽培を実現させるため、活動を行っています。農家所得の向上はもちろん、冬場の道産野菜確保や新たな北海道ブランドの創出を目的としています。



#### 👑 読売新聞社賞

##### 愛知県立猿投農林高等学校 作庭チーム SAKUR ☆

###### 造園の力で地方創生!～地元資源と地場産業に活路を～

私たちは造園のイベントやコンテストで作庭を手掛けてきましたが、物価高と輸送コスト高騰で石材の確保が難しくなりつつあります。そこで地元小原地区で「美濃焼」の原料として使用できず廃棄物として処理される石材に着目しました。石材の採掘跡地は土砂災害の引き金となるリスクもはらんでいます。造園の力で国土保全と産廃ゼロ、地場産業復活を達成しようという取り組みです。



# 第10回 全国ユース環境活動発表大会

..... 受賞校の皆さん、おめでとうございます! .....

## 高校生が選ぶ特別賞

### 愛媛県立長浜高等学校 水族館部

#### 水族館部は救う、町も学校も!

長浜地域が抱える課題は、少子高齢化による人口減少、地域の衰退です。本校も入学者の減少で将来的には募集停止が予想されていました。これらの課題を解決し、環境教育の場を地域に提供することを目的として、長高水族館が誕生しました。運営する水族館部員は1人1つの担当水槽を持ち、毎月第3土曜日の公開日には来館者と交流し、水槽の解説やさまざまなイベントを開催しています。



## 先生が選ぶ特別賞

### 群馬県立吾妻中央高等学校 環境工学研究部

#### 救え!美野原土地改良区! ~10年の成果で農地環境保全・創造モデルへ~

農地管理団体「美野原土地改良区」から10年前に依頼を受け、水田地帯の水路管理データの作成に着手しました。測量技術を駆使して水路図を作成した後、ドローンで写真地図データを構築。2023年からは水路の機能診断や補修作業を進め、情報を地理情報システムに入力しています。システム上では、ち密な水路管理データを構築し、管理体制の効率化を図っています。



## 協賛企業特別賞

### 青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA

#### 厄介者を資源に ~緑化を支えるデュアルシステムの開発~

砂漠化の進む乾燥地には緑化に必要な水と土壌養分が不足しています。途上国の厄介者である2つの汚染水を有効利用するシステムを開発しました。1つ目は富栄養化池沼を無焼成パーミキュライトで窒素分を回収し、緑化植物の育苗に利用するシステム。2つ目は生活雑排水を石灰資材で除菌し、石灰と砂と土で作る三和土をフィルターとして浄化し、栄養分を含んだ水として利用するシステムです。



## SDGs 活動特別賞

### 京都府立桂高等学校 TAFS 第2研究群 芝研究班

#### 循環資源MAPの利用促進 ~安定した食糧生産と脱炭素社会を目指して~

枯渇の危機にある肥料要素リンの原料「リン鉱物」の代替資材として利用できるMAP(リン酸マグネシウムアンモニア)に着目し、研究を行っています。MAPはリンを豊富に含みますが使用例が少なく、産業廃棄物として焼却処分されています。そこでMAPを利用したトマト栽培実験で、従来の化成肥料よりも収量や収益の増加が見込める作型を確立することができました。



## 審査委員



審査委員長

二ノ宮リム さち  
立教大学 教授

### <講評>

高校での学習を活かし、非常に高い専門性や技術に根ざす活動が多かったことが印象的でした。また、学校での勉強とは離れたところでも、自らの関心と社会課題を結び付け自発的に取り組まれている姿が大変頼もしく感じました。持続可能な未来へ向けて社会の変革が求められる今、常識にとられない高校生ならではのイノベティブな発想が光っていました。社会づくりを担う市民のあり方を「シティズンシップ」といいます。活動を通じた経験を、学校など自分の周囲の組織や、その先の社会の変革を担うシティズンシップにつなげ、それを周囲の人に広げてください。これから皆さんが進んでいく社会は、皆さんのような人を必要としています。



審査委員

黒部 一隆  
環境省 大臣官房総合政策課  
環境教育推進室長



審査委員

飯塚 智  
独立行政法人環境再生保全機構  
理事長



審査委員

山口 しのぶ  
国連大学サステイナビリティ  
高等研究所所長



審査委員

新庄 秀規  
読売新聞東京本社  
教育ネットワーク 事務局長



審査委員

岩村 寿子  
SGホールディングス株式会社  
ESG 推進部

### 優秀賞 北海道真狩高等学校

#### 有機農業コース

#### 北海道版リジェネラティブ農業実証試験 ～マメ科緑肥作物を用いた不耕起栽培～

真狩高校では、肥料高騰や環境汚染などの課題にいち早く着目して、持続可能な農業に取り組んできました。北海道でも実践できる有機農法として、不耕起でカバークロープ（土壌侵食を防ぎ土壌中に有機物を加えて土壌改良に役立つ作物）を活用する「リジェネラティブ農業」に挑戦し、実証実験を行っています。



### 優秀賞 山梨県立都留高等学校

#### つる探 総合ゼミ

#### 私たちにできること ～POSTMAN PROJECT～

NPO 法人 JIYU と連携し、POSTMAN PROJECT に参加し海外での国際ボランティア活動を行っています。不用となったランドセルや文房具類、子供服などを回収し、フィリピン・セブ島の貧困地域に直接持参し、現地の子ども達と交流しています。また、中学校への出前授業や企業のプレゼンテーション発表で、活動を周囲に発信しています。



### 優秀賞 長野県下伊那農業高等学校

#### チーム3A・3D

#### 下伊那に「カッキー」を！ ～市田柿の持続可能生産をめざして～

「市田柿」は地域を代表する特産品ですが、製造過程で重量の約1割の果皮が産業廃棄物として廃棄されています。持続可能な生産と消費を実現するために、柿の皮を廃棄物ではなく未利用資源ととらえ、下伊那地域の活性化や新しいビジネスチャンスとしての可能性を広げるために、この活動に取り組むことにしました。



### 優秀賞 京都府立宮津天橋高等学校

#### フィールド探究部

#### みんなの川塾 ～川を楽しみ、伝え、繋げる～

「地域で科学、地域を科学」をテーマに、学校付近を流れる大手川で活動を行っています。大手川は2004年の台風23号被害の改修後、生態系が変化してしまい、地域の方々の協力を得て小学生を対象に「みんなの川塾」を開催しました。イベントを通じて川の「楽しさ」や「自分たちで環境を作れること」を共有しました。



### 優秀賞 広島県立世羅高等学校

#### 農業経営科

#### 広島平和ミツバチプロジェクト

原爆で焼けた街を再び、緑豊かな街にするための「供木運動」で木々の葉が茂るようになった平和大通りは近年、木々の寿命や病気で倒木事故が起きています。地域の委員会から景観保護などに向け、都市養蜂で蜂蜜がとれるか実験依頼を受け、本校ではミツバチ飼育を行っていることから、喜んで協力することになりました。



### 優秀賞 ノートルダム清心学園清心女子高等学校

#### だるまがえるクラブ

#### ナゴヤダルマガエル友だち募集中！ 仲間を増やすための活動

絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルの研究と保護・啓発活動をおかやま大野ダルマガエル保全プロジェクトと連携しながら行っています。2023年から幼生から幼体まで飼育する里親活動に参加し、2024年は最適な飼育環境について研究しました。また幅広い世代の方々に本種を知ってもらうため、公民館で観察会を企画しました。



### 優秀賞 宮崎県立都城商業高等学校

#### 紙漉き文化再生プロジェクト

#### ミライへつなぐ手漉き和紙文化

かつて盛んだった紙漉き文化を再生させるため、地域と緊密な連携のもと伝統的な技術を学び、ユニークな素材を使った新しい和紙を開発しました。地域住民を対象としたワークショップを開催し、地域とのつながりを深めています。また伝統文化を未来へつなげ、地域貢献や持続可能な社会の実現というより大きな目標を目指しています。



### 優秀賞 熊本県立熊本農業高等学校

#### 養豚プロジェクト

#### 「くまもとの赤」で地域を元気に！ ～養豚ガールによる地方創生プロジェクト～

カラーブランド戦略「くまもとの赤」に飼養頭数全国第10位である豚の登録が無い、くまもとの赤ぶたを開発し、ブランド化することで養豚業の安定経営を目指して取り組みを進めました。毛並みの赤いデュロック種を活用し繁殖能力や産子数の改善、肉質調査を行うことで新たなブランド豚「くまもとの赤ぶた」が完成しました。



# 第10回 全国ユース環境活動発表大会

2024年12月に全国8地方で「第10回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会」が開催され、全国から計103団体が出場。出場した全高校が発表した後に、会場内の座席を入れ替え、ほかのチームへの応援メッセージの発表や質問など交流ワークショップを開催しました。

## 北海道地方大会

▶ 日時：2024年12月1日(日)  
▶ 会場：ACU SAPPORO



地方大会最優秀賞  
北海道岩見沢農業高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

北海道岩見沢農業高等学校  
北海道真狩高等学校  
北海道美幌高等学校  
北海道大野農業高等学校  
市立札幌旭丘高等学校  
市立札幌開成中等教育学校  
北海道士幌高等学校  
北海道帯広農業高等学校  
市立札幌開成中等教育学校  
北海道北見北斗高等学校  
市立札幌開成中等教育学校  
市立札幌開成中等教育学校  
市立札幌開成中等教育学校  
北海道真狩高等学校

自然エネルギー班  
有機農業コース  
農業クラブ  
果樹専攻班  
サイエンス部 トンポ班  
コズモサイエンス14班  
環境班  
環境アセスメント分会  
シキデン  
サイエンスクラブ  
Snow Well-being  
札幌開成コズモサイエンス20班  
グレナ  
有機農業コース



高校生が選ぶ特別賞  
北海道真狩高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
北海道美幌高等学校



先生が選ぶ特別賞  
北海道大野農業高等学校



協賛企業特別賞  
市立札幌旭丘高等学校



SDGs活動特別賞  
市立札幌開成中等教育学校



地域貢献活動賞  
北海道士幌高等学校

## 東北地方大会

▶ 日時：2024年12月8日(日)  
▶ 会場：TKP ガーデンシティ仙台



地方大会最優秀賞  
宮城県農業高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

宮城県農業高等学校  
青森県立名久井農業高等学校  
岩手県立花巻農業高等学校  
山形県立村山産業高等学校  
青森県立名久井農業高等学校  
宮城学院高等学校  
宮城県柴田農林高等学校・  
宮城県大河原産業高等学校  
青森県立三本木農業恵拓高等学校  
岩手県立久慈東高等学校  
岩手県立花巻農業高等学校  
秋田県立新屋高等学校  
山形県立村山産業高等学校  
福島工業高等専門学校  
青森県立名久井農業高等学校

Re: 温故知新  
FLORA HUNTERS AQUA  
ソーセージ研究班  
エンドファイト研究班  
環境研究班  
自然科学班

ハマボウフウ保護プロジェクトチーム  
COW 飼う'S  
KUJIEAST WoodMANs  
洋菓子研究班  
理科研究部  
マイコレザー研究班  
山田研究室 ミニ研究チーム  
環境研究班



高校生が選ぶ特別賞  
青森県立名久井農業高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
岩手県立花巻農業高等学校



先生が選ぶ特別賞  
山形県立村山産業高等学校



協賛企業特別賞  
青森県立名久井農業高等学校



SDGs活動特別賞  
宮城学院高等学校



地域貢献活動賞  
宮城県柴田農林高等学校・宮城県大河原産業高等学校

# 地方大会結果 (北海道地方大会、東北地方大会、 関東地方大会、中部地方大会)

全国ユース環境活動発表大会 10周年記念賞を受賞された8校の皆さんは、「環境ユースインターンシップ in 北海道」にご招待いたします。地域の持続可能性に資することを目的として、さまざまな立場から取り組む環境保全活動の現場を視察していただきます。

## 関東地方大会

▶ 日時：2024年12月14日(土)  
▶ 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART



地方大会最優秀賞  
群馬県立吾妻中央高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

群馬県立吾妻中央高等学校  
山梨県立都留高等学校  
千葉県立成田西陵高等学校  
新渡戸文化中学校・高等学校  
茨城県立緑岡高等学校  
神奈川大学附属中・高等学校  
群馬県立藤岡北高等学校  
栃木県立矢板東高等学校  
千葉県立安房高等学校  
郁文館グローバル高等学校  
晃華学園中学校高等学校  
静岡県立島田商業高等学校  
オイスカ浜松国際高等学校  
群馬県立吾妻中央高等学校

環境工学研究部  
つる探 総合ゼミ  
成田日本蕎麦復活チーム  
NiToBe CoLoRs  
生物部 A チーム  
ポップサスティナビリティチーム  
ガーデニング研究部  
リベラルアーツ同好会 Progress  
チームあわわ  
まちづくりゼミ  
SDGs ポップアップストア  
地方創生 SHIMASHO  
環境 SDGs プロジェクト  
環境工学研究部



高校生が選ぶ特別賞  
山梨県立都留高等学校

優秀賞  
優秀賞  
優秀賞  
優秀賞  
優秀賞

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
千葉県立成田西陵高等学校



先生が選ぶ特別賞  
新渡戸文化中学校・高等学校



協賛企業特別賞  
茨城県立緑岡高等学校



SDGs活動特別賞  
神奈川大学附属中・高等学校



地域貢献活動賞  
群馬県立藤岡北高等学校

## 中部地方大会

▶ 日時：2024年12月22日(日)  
▶ 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口



地方大会最優秀賞  
愛知県立猿投農林高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

愛知県立猿投農林高等学校  
長野県下伊那農業高等学校  
長野県下伊那農業高等学校  
愛知県立安城農林高等学校  
福井県立大野高等学校  
福井県立敦賀高等学校  
岐阜県立大垣商業高等学校  
富山県立上市高等学校  
福井県立若狭高等学校  
福井県立若狭高等学校  
福井県立福井商業高等学校  
愛知県立佐屋高等学校  
暁高等学校  
長野県下伊那農業高等学校

作庭チーム SAKUR ☆  
チーム3A・3D  
農業クラブ  
土壌研究研修班  
JRC「結」  
TONKOU's  
DSBC(大商ソーシャルビジネスクラブ)  
グリーン同好会  
ニシノボルテックス  
川崎ビートモス・D・シュンタ  
JRC 部とその仲間たち  
科学部  
暁高校理科部  
チーム3A・3D



高校生が選ぶ特別賞  
長野県下伊那農業高等学校

優秀賞  
優秀賞  
優秀賞  
優秀賞  
優秀賞

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
長野県下伊那農業高等学校



先生が選ぶ特別賞  
愛知県立安城農林高等学校



協賛企業特別賞  
福井県立大野高等学校



SDGs活動特別賞  
福井県立敦賀高等学校



地域貢献活動賞  
岐阜県立大垣商業高等学校

# 第10回 全国ユース環境活動発表大会



交流ワークショップでは、これまでに全国ユース環境活動発表大会に出場されたOBOGの方より、ご自身の

## 近畿地方大会

▶ 日時：2024年12月1日(日)

▶ 会場：AP 大阪駅前



地方大会最優秀賞  
京都府立桂高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

京都府立桂高等学校  
京都府立宮津天橋高等学校  
東洋大学附属姫路高等学校  
兵庫県立龍野高等学校  
奈良県立磯城野高等学校  
大阪府立千里高等学校  
滋賀県立虎姫高等学校  
京都府立北嵯峨高等学校  
大阪府立堺工科大学 定時制の課程  
大阪府立みどり清朋高等学校  
兵庫県立篠山東雲高等学校  
兵庫県立北条高等学校  
奈良県立磯城野高等学校  
大阪府立堺工科大学 定時制の課程

TAFS 第2研究群 芝研究班  
フィールド探究部  
地域活性部 PROJECT TOYO  
自然科学部 生物班  
プロジェクトチーム Flowers  
雑草フラパチーノ  
虎姫高校リード琵琶プロジェクト実行委員会  
生物部 (有栖川かっぱ流域サークル△)  
エコ・プロジェクト部  
地域貢献部  
自然科学部  
自然科学部  
理科部  
エコ・プロジェクト部



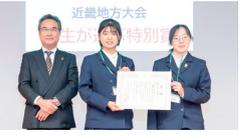
高校生が選ぶ特別賞  
京都府立宮津天橋高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
東洋大学附属姫路高等学校



先生が選ぶ特別賞  
兵庫県立龍野高等学校



協賛企業特別賞  
奈良県立磯城野高等学校



SDGs活動特別賞  
大阪府立千里高等学校



地域貢献活動賞  
滋賀県立虎姫高等学校

## 中国地方大会

▶ 日時：2024年12月8日(日)

▶ 会場：広島国際会議場



地方大会最優秀賞  
広島県立世羅高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

広島県立世羅高等学校  
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校  
鳥取県立青谷高等学校  
山陽学園高等学校  
岡山学芸館高等学校  
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校  
広島県立大門高等学校  
岡山県立倉敷工業高等学校  
盈進中学高等学校  
高川学園中学校・高等学校  
山口県立下関西高等学校  
山口県立下関西高等学校  
広島県立世羅高等学校

農業経営科  
だるまがえるクラブ  
青谷学II (ウニ班)  
地歴部  
医進サイエンスコース  
自然科学部  
アサギマダラ親衛隊  
倉工科学部モデルロケット開発チーム  
環境科学研究部 4年  
科学部カメラ班  
家庭班  
公民1班  
農業経営科



高校生が選ぶ特別賞  
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
鳥取県立青谷高等学校



先生が選ぶ特別賞  
山陽学園高等学校



協賛企業特別賞  
岡山学芸館高等学校



SDGs活動特別賞  
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校



地域貢献活動賞  
広島県立大門高等学校

# 地方大会結果 (近畿地方大会、中国地方大会 四国地方大会、九州・沖縄地方大会)

高校時代の環境活動に関するエピソードや、現在行っている環境活動などについて講演いただきました。



## 四国地方大会

▶ 日時：2024年12月22日(日)

▶ 会場：レグザムホール



地方大会最優秀賞  
徳島県立小松島西高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

徳島県立小松島西高等学校  
愛媛県立長浜高等学校  
ユースたち  
徳島県立阿南光高等学校  
愛媛県立西条農業高等学校  
愛媛県立大洲農業高等学校  
高知市立高知商業高等学校  
大手前丸亀中・高等学校  
香川県立三本松高等学校  
愛媛県立松山工業高等学校  
愛媛県立宇和島東高等学校  
愛媛県立松山中央高等学校  
愛媛県立松山中央高等学校  
愛媛県立長浜高等学校

TOKUSHIMA雪花菜工房×藻藍部  
水族館部  
UCFP(Uwajima Coast Future Producer)  
緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム  
石鎚黒茶 SEL プロジェクトチーム  
果樹プロジェクトチーム  
ジビエ商品開発・販売促進部  
TSUNAGU  
三高みんなの食堂プロジェクト  
チーム Save Our Future  
生物部 水質浄化班  
メダカ班  
MSG  
水族館部



高校生が選ぶ特別賞  
愛媛県立長浜高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
ユースたち



先生が選ぶ特別賞  
徳島県立阿南光高等学校



協賛企業特別賞  
愛媛県立西条農業高等学校



SDGs活動特別賞  
愛媛県立大洲農業高等学校



地域貢献活動賞  
高知市立高知商業高等学校

## 九州・沖縄地方大会

▶ 日時：2024年12月14日(土)

▶ 会場：九州ビル会議室



地方大会最優秀賞  
宮崎県立都城商業高等学校

**地方大会最優秀賞**  
高校生が選ぶ特別賞  
審査委員特別賞  
先生が選ぶ特別賞  
協賛企業特別賞  
SDGs活動特別賞  
地域貢献活動賞

宮崎県立都城商業高等学校  
熊本県立熊本農業高等学校  
長崎県立長崎東中学校・高等学校  
福岡工業大学附属城東高等学校  
鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校  
福岡県立山門高等学校  
熊本県立南稜高等学校  
リンデンホールスクール中高学部  
博多女子高等学校  
長崎県立諫早農業高等学校  
長崎県立対馬高等学校  
鹿児島県立屋久島高等学校  
沖縄県立北部農林高等学校  
福岡県立山門高等学校

紙漉き文化再生プロジェクト  
養豚プロジェクト  
FPC(Fellows of Protecting Coral)  
海の環境を守り隊  
Sea Flowers  
山門高校 One ヘルスクラブ  
総合農業科環境コース林業専攻  
Fungi  
地域共創部  
食品科学部  
ユネスコスクール部  
屋久高発!屋久島お助け隊  
エコ部 平和の茶木復活チーム  
山門高校 One ヘルスクラブ



高校生が選ぶ特別賞  
熊本県立熊本農業高等学校

**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**  
**優秀賞**

全国ユース環境活動発表大会  
10周年記念賞



審査委員特別賞  
長崎県立長崎東中学校・高等学校



先生が選ぶ特別賞  
福岡工業大学附属城東高等学校



協賛企業特別賞  
鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校



SDGs活動特別賞  
福岡県立山門高等学校



地域貢献活動賞  
熊本県立南稜高等学校

「全国ユース環境活動発表大会」に参加された皆さんの活動を紹介する「読売SDGs新聞」特別号の編集に携わりました。日本各地の豊かな自然や文化を支え、環境を守る活動には改めて敬意を表します。また、昨年度に続き、関東地方大会の審査にも参加しました。工夫をこらした活動内容はもちろんですが、プレゼンテーションに臨んだ皆さんの自信にあふれ、満足した表情がとても記憶に残っています。

さて、制作作業の中では、政府の「第6次環境基本計画」（2024年5月閣議決定）について勉強したのですが、そこで「ウェルビーイング／高い生活の質」が目標として掲げられているのに目をひかれました。概要では、自然そのものに加え、それを維持、回復、充実させる仕組みが「非市場的な価値」として生活の質向上につながるということが説明されています。

「ウェルビーイング」という概念は、一人あたり国民総生産（GNP）のように数字で説明できるものではなく、なかなかつかみにくいものかもしれません。ただ、人とつながっていくこと、社会に貢献できたという実感が持てること、安全安心な環境に暮らせることがその向上につながるという流れはよく理解できます。

そこでふと思いついたのは、皆さんの笑顔でした。廃棄物を減らす、自然を守る、地域の資源を生かすといった活動の中で生まれる学校の仲間や地域の大人との連帯感、活動が地域の環境保護に役立っているという満足感。皆さんが伝えてくれたものがまさにこの「ウェルビーイング」のひとつのあり方なのではないか…。

大会に参加した皆さんはそんな意味で、すでに時代を先取りしているといえるかもしれません。今後も胸を張って活動を進めてくださればと思います。

（読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 記者 伊藤 彰浩）

## 協賛企業 応援メッセージ

キリンホールディングス株式会社

### 持続可能な未来につながる取り組みへ

地球環境問題の解決はこれまで以上に重要なものになってきています。皆さんの科学的な分析に基づき、多くのステークホルダーと協働した取り組みに感銘を受けました。この取り組みをぜひ次の世代につなげてください。これからの活動が一層発展することを期待しております。

よろこびがつなく世界へ  
 KIRIN

協栄産業株式会社

### 豊かな未来は豊かな発想から

皆さんの新しい発想と着実な活動が、社会や地域の課題を一つ一つ解決していることに、今年度も感銘を受けました。これからも全国の仲間との絆を深めながら、情熱を持ち続けながら、素晴らしい未来に向けた活動を頑張ってください。応援しています。

 KYOEI

SGホールディングス株式会社

### 大きな視点で更なる躍進

仲間と切磋琢磨し活動を進める皆さんにたくましさを感じました。環境活動は、経済・社会・健康など相互に関連し融合性のあるテーマです。大きな視点を持って、これからも楽しく活動を続けてください。今後社有林でのイベント等を企画し、皆さんの取り組みを応援していきます。

 SGH  
Grow the new Story.  
新しい物語で、新しい社会を、共に創りだす。

株式会社タニタ

### 若い力で新しい道を切り開け

世界はより分断の道を歩んでいるように思えます。地球環境の問題もしかり。混沌とした国際情勢にありますが、だからこそ皆さんの若い力が必要なのです。たゆまぬ努力が必ずや世界を変えていけると信じています。新しい道を切り開け高校生。

 TANITA

東芝プラントシステム株式会社

### 自由な発想でポジティブに

高校生の皆さんのフレッシュな考え、積極的な行動に心を打たれました。全国ユース環境活動発表大会を、皆さん方のイノベティブな発想を育む機会として是非有効に活用してください。そして皆さんの環境活動が大きく、深くなることを期待します。応援しています。

 TOSHIBA  
東芝プラントシステム株式会社

よろこびがつなぐ世界へ



# キリンホールディングス



福井県立福井商業高等学校  
群馬県立尾瀬高等学校



キリンホールディングスと福井商業高等学校・尾瀬高等学校の皆さん

2024年8月2日（金）、福井県立福井商業高等学校と群馬県立尾瀬高等学校の2校の生徒が高校生企業環境研修に参加。神奈川県横浜市鶴見区にあるキリンホールディングスのパッケージイノベーション研究所を視察し、企業の環境保全などの取り組みを学びました。



キリンの研究開発

## キリンホールディングス パッケージイノベーション研究所

### パッケージからイノベーションを起こす

パッケージはあらゆる商品に使われています。商品を手にとったとき最初に触れる部分であり、物流工程や店頭で衝撃や気温変化から商品の中身を守る重要な役割も担っています。一方で近年では、プラスチック容器による海洋汚染などパッケージを取り巻く社会課題も顕在化しています。パッケージに変革を起こすことで人々にあたらしい価値を提供するとともに、社会課題を解決する。それがパッケージイノベーション研究所のミッションです。



パッケージイノベーション研究所

### ～研修を終えて～ キリンホールディングスご担当者からのメッセージ

#### 今回の研修での率直な感想

日頃購入いただいているキリングループ商品のパッケージに関する工夫や省資源化・リサイクルの取り組みをご説明し、ほんのわずかな材料使用量削減が、資源枯渇のセーブや温室効果ガスの削減に大きく寄与していることを理解いただきました。



パッケージの説明

今回、お客様の視点に最も近く、環境に対する意識の高い高校生の皆さんと意見交換ができて、我々の今後の容器やリサイクル技術の開発に生きるアイデアをいただけたこと、今後の高校生の皆さんの環境課題に対する取り組みのマインドをわずかながらでも高められたことは、今回の受け入れを通じて非常に光栄な機会を頂戴できたと感じています。

このような機会を増やして、キリングループならびに社会に貢献する研究所として、今後も広く活動していきたいと思っております。



講師  
大久保 辰則さん

### ～研修を終えて～ 高校生の感想

#### 福井県立福井商業高等学校

今回の研修で、普段何気なく利用しているペットボトルに多くの知恵が詰まっていることを知りました。中でもケミカルリサイクルという、使用済みペットボトルを化学の力で異物の混じっていないプラスチックの状態に戻し、再度ペットボトルに利用できるという方法には、みんなが驚いていました。つまり、私たちがペットボトルをリサイクルに回すことが、ペットボトルの原材料を提供することになるのです。多くの方にこのような時代が来たことを知って頂き、皆でペットボトルの回収率を100%に近づけていきたいと思いました。また仕事に取り組む姿勢も学ばせていただきました。



#### 群馬県立尾瀬高等学校

今回の研修を通して、私たちの日常にあるペットボトルやパッケージの中に、私たちの生活に支障がないよう改善が進められているだけでなく、環境へ配慮した工夫や取り組みがさまざまに行われていることを知ることができました。また、ボトルの改良だけでなくゴミ箱の形や包装容器まで研究されていて、資源の循環について具体的な改善に取り組まれていることが印象的でした。知識としては持っていたリサイクルの流れが、自分の生活の中にイメージできるようになりました。また、研修の中で、他校の高校生や企業の方たちと話をしながら考えることができ、良い経験になりました。



キリンホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。



のんだあとはリサイクル。





Grow the new Story.  
新しい物語で、新しい社会も、共に育む。

## SGホールディングス株式会社

日本のCO<sub>2</sub>排出量のうち、運輸部門（自家用車をはじめとした車両、船舶等）の排出量は18.5%を占めています。当社グループは物流という社会インフラを担う企業グループとして、多くの貨物自動車を使用しており、脱炭素社会に向けた取り組みは責務であると認識しています。

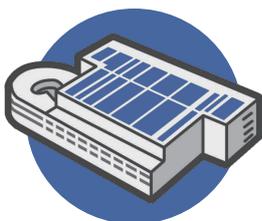
喫緊の課題である地球温暖化防止への取り組みをこれまで以上に強化すべきと捉え、さまざまな施策を展開しています。ステークホルダーの皆さまとも協力しながら、サプライチェーン全体での排出削減に取り組んでいます。

※国土交通省ウェブサイト「運輸部門における二酸化炭素排出」参照、数値は2022年度の実績

### SGホールディングスグループ 脱炭素ビジョン

SGホールディングスグループは、ステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

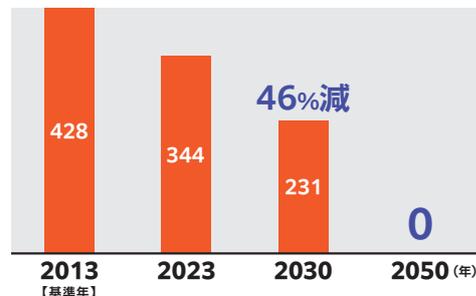
- 1 車両から排出される温室効果ガスの削減
- 2 再生可能エネルギー由来の電気の使用推進
- 3 サプライチェーン全体での排出削減



### 排出削減目標

- 2030年までにCO<sub>2</sub>排出量46%減（2013年度比）
- 2050年までのカーボンニュートラル（いずれもスコープ1・2が対象）

CO<sub>2</sub>換算排出量（千t-CO<sub>2</sub>）



## SGホールディングスグループの活動紹介

### 環境対応車の導入

保有車両に占めるEVやハイブリッドトラックなどの環境対応車割合は、2023年度の77%から、2030年度には98%へ。

バイオ燃料の本格導入に向け活動中。



### 社有林での活動

四国（高知・徳島）と東京（八王子市）に約850haの社有林を保有。宅配や営業所での仕事で発生するCO<sub>2</sub>の一部を吸収してくれる社有林の保全や、里山の必要性を学ぶ自然体験学習の実施。

高尾100年の森（@東京八王子市）



活動記録は  
こちらから



### コミュニケーション

従業員向けにサステナビリティ講座を展開中。ユーモアあふれるわかりやすいweb発信で、気候変動に対応するグループの活動事例などを紹介。さらに、動画は一般公開中。2025年3月には新たな動画も公開。ぜひ、ご覧ください。



動画は  
こちらから



SGホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。

# KYOEI 協栄産業株式会社

×  
 栃木県立栃木農業高等学校  
 栃木県立矢板東高等学校



協栄産業と栃木農業高等学校・矢板東高等学校の皆さん

2025年1月18日(土)、栃木県立栃木農業高等学校と栃木県立矢板東高等学校の2校の生徒が高校生環境企業研修に参加。茨城県笠間市にある協栄産業グループ ジャパンテック株式会社・東日本PETボトルMRセンターを視察し、ペットボトルの水平リサイクルなどについて学びました。

## 研修内容

# ペットボトルの水平リサイクルでカーボンニュートラルと持続可能な社会の実現に貢献します

### ◆日本初の「ボトル to ボトル」から、世界初の「FtoP ダイレクトリサイクル」へ

協栄産業グループは、2011年に独自開発した不純物を徹底的に取り除くと同時に物性の回復を実現するメカニカルリサイクル技術による「ボトル to ボトル水平リサイクル<sup>\*1</sup>」を日本で初めて実現しました。この技術によって作られた再生原料は、石油由来原料と同等の品質を有し、石油由来原料からの製造時と比べCO<sub>2</sub>排出量を約63%も削減することができます。現在、弊社の再生原料は多くの清涼飲料水に採用されています。2018年には更なる技術革新を追求し、PETフレークから直接ペットボトルの原型となるプリフォームを製造する世界初の「FtoP<sup>\*2</sup> ダイレクトリサイクル技術」を実現しました。この技術は、従来の再生法と比べ、製造・輸送など多くの工程を削減しCO<sub>2</sub>排出量を約70%も削減することができます。

※ 1 使用済みペットボトルから再びペットボトルへと生まれ変わらせる技術 ※ 2 フレーク to プリフォーム



研修の様子



ペットボトルリサイクルで貢献する5つのSDGs

### ▶ 小さなことからできること

弊社グループは、街中から排出される使用済みペットボトルを都市から湧き出る貴重な「都市油田」と捉え、ペットボトル資源の循環を通して、次世代の子どもたちに豊かな地球環境と限りある資源を繋ぐために、ペットボトルリサイクルに取り組んでおります。資源を循環させ、さまざまなものへ生まれ変わらせるためには、きれいなペットボトルの収集が不可欠となります。そのためには、「ペットボトルの中を軽くすすぎ、ラベルを取ってキャップを外す」といった分別が重要になります。ご家庭だけでなく、外出先でも分別を行うことで、あらゆるペットボトルが高品質な原料へと生まれ変わり、再びペットボトルとして生まれ変わることができます。地球環境を守り、限りある資源を未来に残していくため、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### ▶ 高校生の皆さんへ

目標を持って仲間と試行錯誤を繰り返しながら、地域・社会課題解決に取り組む姿勢に感銘を受けました。日頃の研究成果を一生懸命に発表し、これからの研究のヒントをつかもうと、熱心に耳を傾け、メモを取り、疑問に思ったことを積極的に質問する姿を見て、とても心強く思い、未来を担っていく皆さんに無限の可能性を感じました。これからも皆さんの素晴らしい未来に向けた活動を応援しています。

## 高校生の感想



栃木農業高等学校の皆さん



矢板東高等学校の皆さん

### 滝沢 聖那さん

今回の研修で協栄産業様の環境やSDGsへの取り組みについて学び、大変勉強になりました。特にFtoPダイレクトリサイクル技術によるCO<sub>2</sub>排出量の大幅削減が印象的でした。この技術の重要性を改めて実感し、環境問題への関心が深まりました。今回の学びを活かし、持続可能な社会の実現に貢献したいです。

### 佐藤 享依さん

ペットボトルに関するさまざまなリサイクルの可能性や国内で循環させるという大きな構想があることを知りました。また協栄産業様の話を聞いて、思いついたことをまず実行してみる行動力が大切だということも学びました。今回の研修で学んだことを活かし、より環境に配慮した行動をしていこうと思います。

### 中田 正太郎さん

ペットボトルのリサイクルの仕組みを学んだことで、リサイクルの工程だけでなく環境に配慮した取り組みとしての考え方や意見を知ることができました。また、物事に対する多面的な考え方や、消費者の安心・安全を得るための活動といった内容は、自分たちの活動にもつながるものだったので非常に勉強になりました。



### 村井 柊介さん

ペットボトルのリサイクルの現状や課題を知ることができました。「ボトルtoボトル」という技術が原油からペットボトルを作ることよりも二酸化炭素の排出量を減らすことができると知り、これまでの自分の行動を反省し、これからの行動を考える良いきっかけになりました。



活動紹介の様子

協栄産業は、ユースの環境活動を応援しています。



TANITA タニタ



栃木県立矢板東高等学校

2024年11月9日(土)、栃木県立矢板東高等学校の生徒5名が高校生企業SDGs研修に参加。株式会社タニタが主体となって推進する「ご当地タニタごはんコンテスト」を視察し、コンテストの一般審査員を担当しました。タニタが取り組む「健康」、「食」、「SDGs」について学びました。



栃木県立矢板東高等学校の皆さん

第7回ご当地タニタごはんコンテスト 全国大会 ～ヘルシー郷土料理で健康まちおこし～

ご当地  
**タニタごはん  
コンテスト**  
ヘルシー郷土料理で健康まちおこし

今年、7回目を迎えた「ご当地タニタごはんコンテスト～ヘルシー健康料理で健康まちおこし～」。「日本を丸ごと食する」をテーマにこれまでにない日本の食文化に触れてもらうきっかけとしてスタートしました。郷土料理の継承とともに、新しい地域の特産品として広く認知・普及させ、地域の活性化に結び付けます。

**コンセプト** ① 郷土料理の継承 ② 人材育成 ③ 地域活性化



厳しい予選を勝ち抜いた15チームが出場!

第7回ご当地タニタごはんコンテスト 表彰(料理抜粋)

🏆 **グランプリ**

秋田県



和気 湧く 具沢産  
お腹一杯プレート

🏆 **準グランプリ**

滋賀県



継承したい近江の味

🏆 **準グランプリ**

山口県



自給率100%「山口の鯨定食」

🏆 **特別賞**

鹿児島県



みしよれ!!  
あたいどんのわっせかみし

タニタ × 栃木県立矢板東高等学校 (高校生 企業SDGs研修)

企業SDGs研修

健康総合企業のタニタ。「健康をつくる」が企業のテーマです。ご当地タニタごはんコンテストは、「タニタが考える健康的な食事の目安」で、健康的かつ地域の新たな食の可能性を創造し、郷土料理の技術や歴史を次世代に継承していくことを目標に開催。まさにSDGsに寄与しているコンテストです。高校生の皆さんも、未来につながる郷土料理をぜひ地元の方々と一緒に考えてください。



講師  
猪野 正浩さん

<栃木県立矢板東高等学校> 高校生感想

印南 史緒さん

今回の研修を通して、郷土料理の魅力を再確認し、私たちが抱える郷土料理やSDGsの問題について学ぶことができました。また、消費者に加え、生産者のニーズにも応えていくことの重要性や、伝統を守りながらも世代問わず愛されるものを作っていくことの難しさなど、多くの気づきがありました。この学びをこれからの探究活動に取り入れ、健康や環境への向き合い方を見直すきっかけを作りたいです。



関 日奈多さん

講習のなかで、郷土料理は保存性がよい一方で味が濃く、若い世代に食べてもらえないとお聞きしました。それらの点を改善した各チームのメニューはとても魅力的で、とてもおいしいものばかりでした。また審査員の方からの「箸を使うことを忘れないでほしい」という願いを聞き、日本の文化として残していく必要性を認識しました。今回学んだことを活かして、私たちもSDGsの目標達成に取り組んでいきたいです。



高橋 杏菜さん

本コンテストの一般審査員を通して、全国の郷土料理を健康的かつ次世代へ受け継いでいく工夫がされた料理を試食し、普段の生活や学校の授業では得られない貴重な体験をすることができました。特に、アレルギーへの対応やビーガンに対応したメニュー等も考案されていたことに驚きました。出場者のプレゼンテーションにより、それぞれの地域の郷土料理への思いを感じることができました。



熊谷 莉瑠さん

私は研修を通して、日本各地の素晴らしい郷土料理について学ぶことができました。初めて聞く食材や料理が多くありましたが、各グループのプレゼンテーションから作った人の思いが伝わってきました。郷土料理を次世代に受け継いでいくための工夫がいくつも盛り込まれており、非常に参考になりました。このような活動が広がり、多くの人に興味をもってもらうことがSDGsの目標達成につながると感じました。



時庭 結美花さん

今回の研修で一番印象的だったのが、老若男女問わずさまざまな人たちが参加していたことです。そして、参加者がそれぞれの地域の郷土料理をどのように残していけばよいかを真剣に考え、さまざまな視点から郷土料理の在り方を提案していることに感動しました。今回の貴重な研修を通して、私自身も改めて郷土料理の魅力を知ることができました。また今後の活動にも活かしていきたいです。



タニタは、ユース世代のSDGs活動を応援しています。

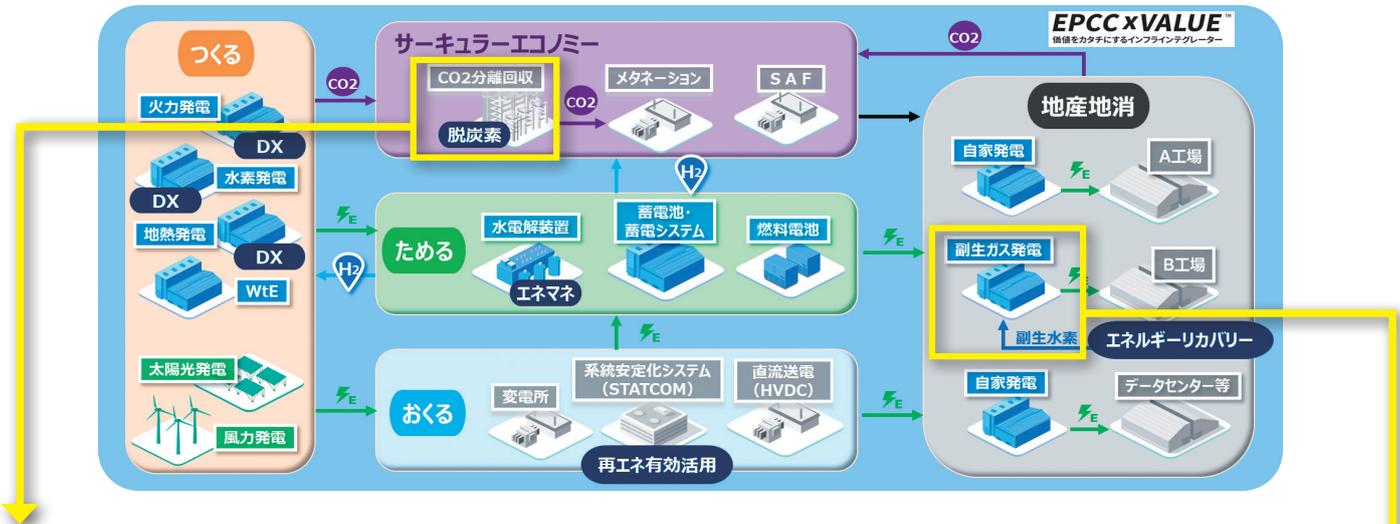
# TOSHIBA 東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステムは、東芝グループの一員として、発電所や産業プラントなどのエンジニアリング・設計・施工・試運転を担っている会社です。「技術で社会課題を解決すること」を使命に、主にエネルギーとインフラという2つの事業を通じて、環境保全にも取り組んでいます。

カーボンソリューション事業部では、近年は、化石燃料に代わる水素やアンモニアを利用する発電にも力を入れています。発電で発生するCO<sub>2</sub>をその場で分離・回収する最新技術の実証をはじめ、次世代エネルギー開発に貢献しています。

## カーボンニュートラル社会の実現に向け、つくる・ためる・おくるの コア技術を主体としてインフラシステムの EPCC に対応する



## CCS (二酸化炭素回収貯蔵) 実証プラントへの取り組み

設備概要:環境省「環境配慮型CCS実証事業」(受託会社:東芝エネルギーシステム(株),他17法人)

運転開始:2020年10月

特徴:バイオマス発電所から排出されるCO<sub>2</sub>の50%にあたる500t/日以上分離回収する世界初(注1)の大規模BECCS(注2)対応設備。当社は、2009年より東芝と共同でCO<sub>2</sub>分離回収事業に取り組んでおり、2030年の大型火力発電所等への適用を目指しています。

(注1:2020年12月時点。注2:Bio-Energy with Carbon Capture and Storage:CCS付きバイオマス発電)

～2010	～2015	～2020	～2030・・・
発電所排ガス	その他の排ガス源で検証	大規模回収への展開	大型火力発電所等に適用
<p>2009年</p> <p>シグマパワー有明三川発電所パイロットプラント</p>	<p>2013年</p> <p>佐賀市清掃工場小型試験装置</p>	<p>2016年</p> <p>佐賀市清掃工場商用機</p>	<p>2020年10月竣工</p> <p>シグマパワー有明三川発電所実証機</p>
<p>パイロットプラントにおける総合評価・検証を開始(現役稼働中)</p> <p>プラント設計・建設への反映(小型装置～実規模設備)ニーズの合うお客様に納入し実績と経験を蓄積</p>			<p>将来の大型CCSプラントイメージ図</p>

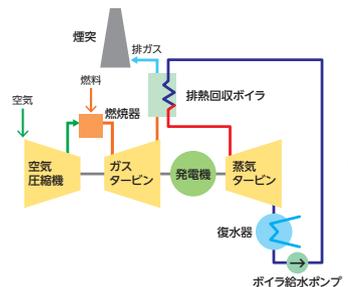
## 副生ガスを有効活用したガスタービン コンバインドサイクル発電所

設備概要:JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区) 西発電所4号機

運転開始:2015年6月

特徴:製鉄の製造工程で発生する低発熱量の副生ガスと都市ガスを燃料とした発電設備。副生ガスの有効活用および高効率ガスタービンの採用により、お客様の買電コスト低減とCO<sub>2</sub>削減に貢献。高効率GT採用により従来BTGシステムから10%以上の効率改善、100%水素専焼可能(一部改造要)

コンバインドサイクル発電は、燃焼器で燃料を燃焼した燃焼ガスでガスタービン/発電機を回して発電すると共に、ガスタービンの排ガスを排熱回収ボイラに導き蒸気をつくり、その蒸気により蒸気タービン/発電機を回して発電する方法です。



東芝プラントシステム株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。

## 東北地区 高校生 SDGs セミナー



2024年8月1日(木)、宮城県仙台市で「高校生 SDGs セミナー」をハイブリッド形式にて開催し、東北地区の18校の高校生が参加しました。プラスチックリサイクルを取り巻く環境に関する講演を聴いたのち、「生物多様性とSDGs」をテーマに、他校の高校生と話し合い交流しました。

### セミナー内容

テーマ：生物多様性とSDGs ～高校生同士のSDGs意見交換会

基調講演：ともに考えよう！プラスチックリサイクル

講師：東北大学大学院工学研究科 応用化学専攻 准教授 熊谷 将吾 氏



主催：独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク事務局

共催：特定非営利活動(NPO)法人 環境会議所東北 環境甲子園

全国ユース環境ネットワークと環境甲子園は協力し、東北地区の高校生の環境活動や研究活動を応援しています。



## 北海道地区 高校生 SDGs セミナー



2024年8月24日(土)、北海道札幌市で「高校生SDGsセミナー」を開催。

北海道地区の4校の高校生が集まり、プロジェクト型課題解決ワークショップを実施しました。3つのチームに分かれて「私たちが解決したい社会課題(困りごと)」を決め「環境広場さっぽろ」の出展ブースに訪問し、解決に向けたヒントをヒアリングしました。

ヒアリングしたヒントを基に、各チームで持続可能な社会を実現するためのプロジェクトを企画・提案。高校生ならではの視点から、ユニークなアイデアが発表されました。

参加した高校生からは「SDGsが課題だと授業でよく

耳にするけれど、実際に深く考えることはなかなかないので良いきっかけになりました。」といった感想が寄せられました。

